

報告日 令和6年10月17日
報告回数 2日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東大和市役所			代表者名	和地 仁美
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	政策経営部広報プロモーション課	連絡先電話番号	042-563-2111
担当者役職	プロモーション係長	担当者氏名	横山太一	連絡先E-mail	
住所	2078585 東京都東大和市3-930				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	情報発信ありかたの見直し
概要	広報ありかたの見直し及びそれに伴うシビックプライドの醸成に関するICTの活用について、助言をいただきたい。		
支援を求める分野	ICT活用広報 その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻		
	令和6年10月15日	支援・助言	9時00分	10時00分	
				活動時間(分)	60

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	具体性のない質問に対しても、わかりやすく、かつ的確にご助言いただけ、また、期待以上の情報をご提供いただけため。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	1人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	1	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">魅力創造ワークショップについてワークショップの運営方法及び参加者の募集方法直近で開催した参考自治体mGAPについてモニターアンケートの具体的な手法市外のターゲット人口の考え方
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">魅力創造ワークショップについて令和7年度での開催mGAPについて令和7年度からの活用

<p>アドバイザーに支援を受けた内容</p> <p>(具体的にご記入下さい)</p>	<p>以下のとおり、ご助言いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力創造ワークショップについて <ul style="list-style-type: none"> 参加者募集については、公募だけでなく、学校や商工会への呼びかけが有効 1開催あたり16名いれば、実施可能。 全部で4回～5回、曜日や時間帯(平日午後6時～や週末の日中など)を分けて実施し、延べ40人くらい参加できると良い。参加に自由度を高くし、当日参加もOKにするとよい。 また、開催場所も毎回変えたりしたら面白い。福井県坂井市では、お寺や企業内カフェを使った。 マルシェをやったり、託児もつけると参加者が増える。 具体的な内容は、以下のとおり 1回目 魅力出し+共有 <ul style="list-style-type: none"> ワークショップの間に、魅力を見に行くツアーをやったりする。それを参加者にSNS発信してもらおう。 2回目～3回目 希望実現ストーリー、ペルソナ作り、どんな暮らしができるのか。3人くらい 4回目 ストーリーを投票で選ぶ、昔の自分への手紙、言葉づくり(ブランドメッセージ) 実際に職員だけで開催は難しいため、河井氏を講師として開催するケースがほとんどと思われる。 大阪府池田市では、地域力創造アドバイザー制度を活用していた。 mGAPについて <ul style="list-style-type: none"> モニターアンケートは、不特定多数へのオンラインアンケートで構わない。回答も50件程度で十分 市外のターゲットは、まず、魅力創造アンケートでペルソナやストーリーを作らないと実施不可能。 アンケートでまず、ペルソナやそのストーリーに共感するかどうかを確認したうえで、東大和市への推奨意欲を尋ねる必要がある。アンケート時には、属性を尋ねて、どんな属性のひとつから評価されているかを確認すると良い。 市民市外民の両方に魅力を発信するには、「市民が作った動画」や「写真」をSNSで発信することが有効 SNS発信もワークショップで作ったストーリーに絡めると効果的 平塚市では、高校生が公式Instagramを運用するというをやっていた。 	
<p>支援を受け改善又は解決された内容</p> <p>(具体的にご記入下さい)</p>	<p>前回伺った内容の深堀りができた。来年度予算計上に向けて、引き続き、検討したい。東大和市を好きな人を集めて、魅力を語る場を設定する取組については、そういった方とより多く関わっていく必要があるため、引き続き、市民の方とのコミュニケーションを取り、実施に向けて準備していきたい。</p>	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p>⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない現時点ではない。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容</p> <p>持ち越しとなった内容</p> <p>(具体的にご記入ください)</p>	<p>特にないが、今後検討していく中で、不明な点や課題が生じた点などを次回アドバイスをいただくこととした。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>助言・支援のため</p>	
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい</p>	<p>②次年度に予算化を図り推進する</p> <p>魅力創造ワークショップ及びmGAPに関して、実施・活用する方向で調整中。</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>次のことにより、これまで市民に届けきれていなかった市の魅力を届けられるようになり、シビックプライド醸成またそれに伴い市民の地域への参加意欲や感謝意欲が向上されることにより、市民全体としての居住満足度及び生活における幸福度が向上することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市報東やまと」のリニューアル及びSNSの活用方法の見直し等によって、老若男女問わず、市民の方が容易に情報収集できるような情報発信を実施する。 シティプロモーションにおける市民や市内事業者を巻き込んでの市の魅力発信に関する考え方や手法の習得 	
<p>5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可</p>		
<p>掲載許可</p>	<p><input type="radio"/>掲載可</p>	<p>https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</p>
<p style="text-align: center;">なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

